

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年6月17日（木）

2 確認箇所

- ・地下水バイパス一時貯留タンクエリア
- ・サブドレン一時貯水タンクエリア 他

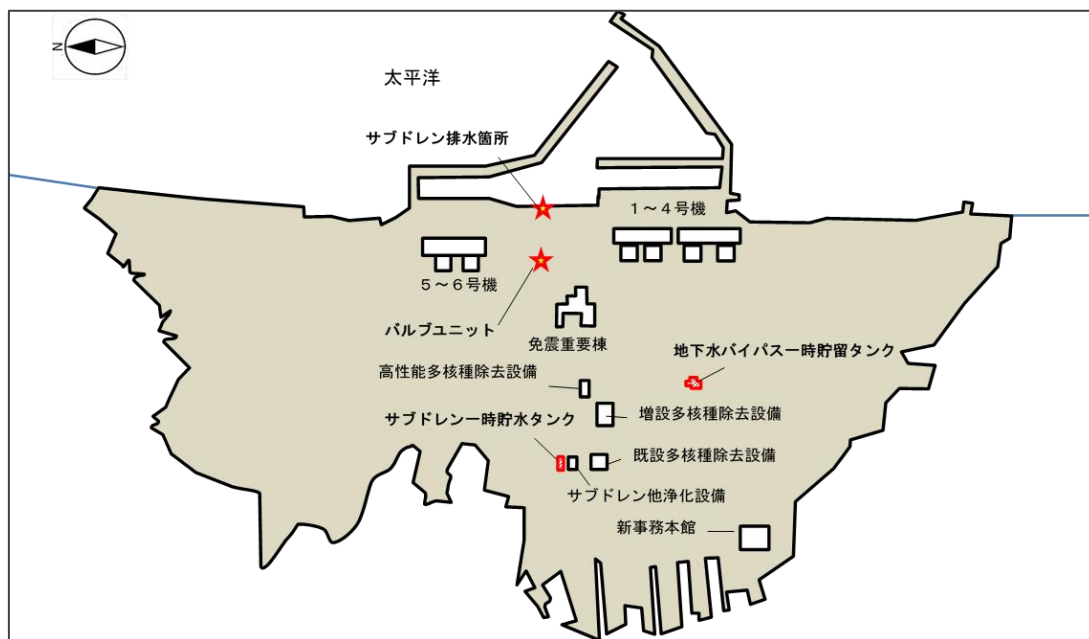
3 確認項目

- (1) 地下水バイパスの排水状況
- (2) サブドレン処理水の排水状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減するため、地下水バイパスやサブドレン他水処理設備などの施設を設置し、運用目標に適合した水質の地下水を定期的に海洋へ排水している。（図1）

今回、地下水バイパス一時貯留タンク及びサブドレン一時貯水タンクから排水が予定されていたことから状況を確認した。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

(1) 地下水バイパスの排水状況について

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられており、今回はグループ1から排水が行われる予定であったが、タンク貯留量の確認のため、排水操作が延期された。(写真1)

- ・東京電力社員が排水を行わないグループ2及び3の排水弁が「全閉」となっていることを目視確認した後、グループ1の排水弁を開放するために、免震重要棟集中監視室に報告した際、タンク貯留量の記録の誤りが明らかになり、排水作業が延期された。(写真2)
- ・地下水バイパス一時貯留タンク周囲及び配管等を確認したが、漏えい等の異常は確認されなかった。



(写真1)

地下水バイパス一時貯留タンク
エリアの外観 (北東側から撮影)



(写真2-1)

排水しないグループ2の排水弁
が「全閉」であることを確認



(写真2-2)

排水しないグループ3の排水弁
が「全閉」であることを確認

(2) サブドレン処理水の排水状況について

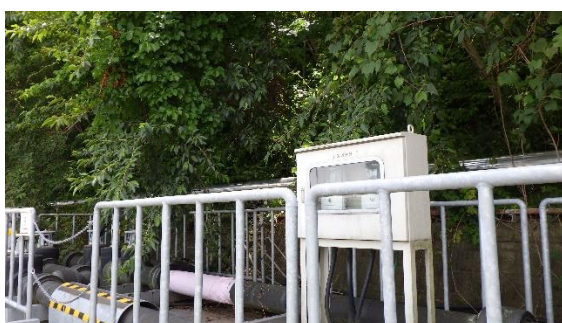
サブドレン一時貯水タンクは全11基からなり、今回はこのうち1基（タンク（H））から排水が行われた。なお、今回は排水中のサブドレン一時貯水タンク、バルブユニット、排水口周辺の状況を確認した。（写真3）

- ・排水中のタンク（H）以外の排水弁は「全閉」であり、タンク（H）の排水弁のみが「全開」であった。（写真4）
- ・サブドレン一時貯水タンク、バルブユニット周囲、排水口付近で漏えい等の異常は確認されなかった。



(写真3-1)

サブドレン一時貯水タンクの外観
(南東側から撮影)



(写真3-2)

バルブユニット周囲の状況



(写真3-3)

サブドレン処理水排水口の状況



(写真4-1)
サブドレン一時貯水タンク (H) の
排水弁の状況 (「全開」)



(写真4-2)
サブドレン一時貯水タンク (H)
以外のタンクの排水弁の状況の一例
(タンク (A) 「全閉」)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。